

令和6年度 第5回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和6年10月15日（火）午後6時30分～

会場：レインボーセンター 3階 第三会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【報告事項】

- ・こどもプールの廃止について
- ・海洋フィッシングセンターの今後の方針について

【自主的な審議】

- ・地域ぐるみの防災活動の推進について
- ・地域内視察について

4 その他

- ・次回地域協議会

令和6年 月 日（ ）午後6時30分～ レインボーセンター

5 閉 会

こどもプールの廃止について

1 廃止の経緯

昭和 55 年から平成 2 年にかけて合併前の上越市 12 箇所に設置されたこどもプールについては、利用者が 20 年程前と比較し 9 割減少していることを受け、利用実績のある保育園や地元町内会、関係部局へ聞き取りを行った結果、少子化の影響等により公園機能としてプールの必要性が非常に低下し、現状の公園利用目的との乖離が確認されたことから、令和 6 年度をもって全プール施設を廃止する。

2 こどもプール所在地等

地区	公園名	所在地	地区	公園名	所在地
高田	柳善公園	東城町二丁目	金谷	いちょう公園	昭和町一丁目
高田	お馬出し公園	大町二丁目	直江津	古城公園	港町一丁目
高田	中島公園	北城町三丁目	直江津	とどろき公園	栄町一丁目
高田	大野公園	高土町二丁目	直江津	毘沙門公園	五智一丁目
高田	新町公園	新町	有田	桐ノ木公園	佐内町
新道	上稲田公園	稲田四丁目	有田	春日新田公園	春日新田五丁目

3 利用者数の推移



4 こどもプール跡地の整備方針

地域の利用目的に応じた公園へ再編するため、地元町内会とプール跡地の整備方針について協議を行う。

上越市海洋フィッシングセンターの方針について

1 施設の概要

施設名称：上越市海洋フィッシングセンター

所在地：上越市大字虫生岩戸 719 番地先

設置年度：昭和 58 年度（令和 6 年度で 43 年間）〔参考〕旧水族博物館：S55-H29=38 年間

施設等：釣り桟橋 L=185.0m W=3.5~4.5m

設置目的：水産業の振興と海での市民の健全な余暇活動の増進を図る。

2 施設の方針について

- ・ 施設を廃止する。

【廃止理由】

- ・ 老朽化により大規模な改修が必要であること
- ・ 転落など、事故発生リスクの課題から管理者の受け手がいないこと
- ・ 市場調査を実施したが、民間による利活用提案がないこと

3 これまでの経過

<施設構造>

- ・ R5 健全度調査の結果、主構造部（ボルト）及び竿受台で、「今すぐに補強等の対策が必要な状態」、また、床版、主構造部（腐食・塗装）等で「計画的な予防的対策を施さないと機能が保持されない状態」と評価を受け、大規模な改修を行う必要がある。
- ・ 令和 6 年能登半島地震により、管理棟の壁面に亀裂が生じたほか、津波により管理棟内で保管していた釣竿等の備品が損壊した

<運営>

- ・ 令和 5 年度に指定管理者が、転落事故発生の恐れから令和 6 年度以降の業務を受託しない旨の意向を示された。

↓

- ・ 令和 6 年 4 月から施設を休止（休止中、市民を含め県内外からの問合せは数件）

↓

<サウンディング型市場調査>

- ・ 市場性の有無や施設の譲渡に向けた条件の整理を行うため、R6 年 6 月から 8 月までサウンディング型市場調査を実施した
- ・ 1 者から申込みがあったが、新たな総合複合施設の整備提案であり、現施設の利活用提案や譲渡・貸付けの希望はなかった

4 今後の予定について

- ・ R7 年 3 月議会にて条例廃止を提案予定

上越市海洋フィッシングセンター現況写真



施設の全景
(栈橋)



主構造部の腐食
(主桁の裏側)



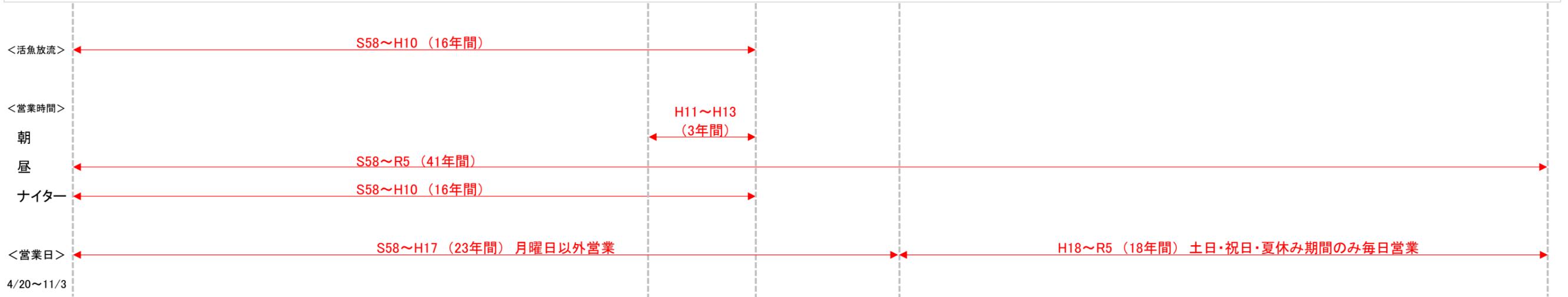
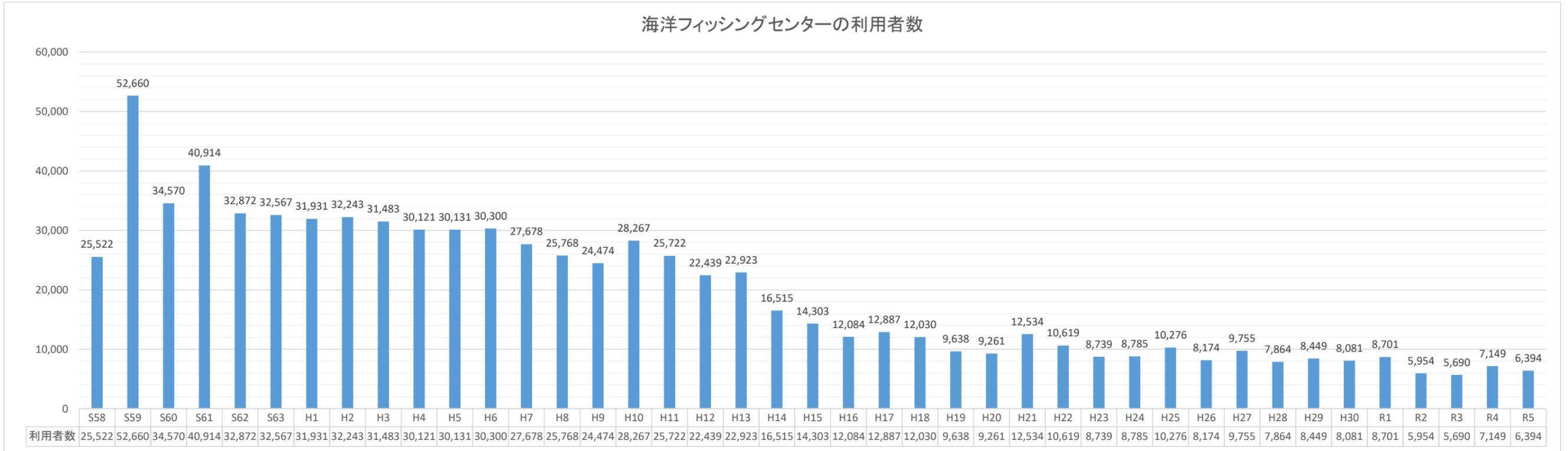
手すりの設置状況、竿受台・床版の腐食
(釣りスペース)



床版の腐食
(出入口階段付近)

参 考

海洋フィッシングセンターの利用者数



令和6年能登半島地震 市の被害状況、対応状況について

(令和6年9月9日現在)

上越市 防災危機管理部

当市の被害・対応状況について

地震の概要

- 本 震:1月1日(月) 午後4時10分頃
- 発生場所:石川県能登地方(輪島の東北東30km付近) 深さ16km
- 規 模:マグニチュード7.6
- 市内の震度

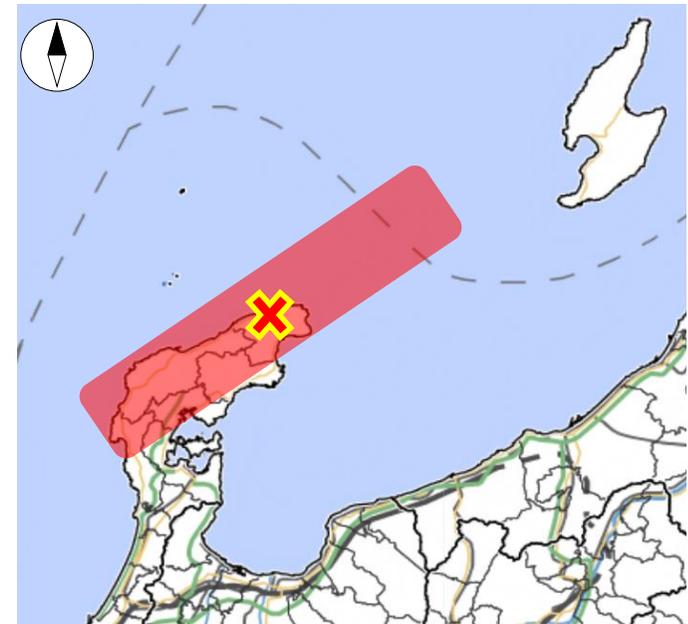
震 度	観 測 地
5強	木田、柿崎区、頸城区、吉川区、三和区
5弱	安塚区、牧区、大潟区、中郷区、板倉区、名立区
4	浦川原区、大島区、清里区

※:最大震度7(石川県志賀町)、震度6弱(長岡市)

- 主な余震:1月9日(火) 午後5時59分頃
- 発生場所:新潟県佐渡付近 深さ10km
- 規 模:マグニチュード6.0
- 市内の震度

震 度	観 測 地
4	木田、安塚区、大潟区
3	浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、頸城区、吉川区中郷区、板倉区、清里区、三和区、名立区

※:最大震度5弱(長岡市)



:推定震源域
(気象庁HPより抜粋)

当市の被害・対応状況について

津波の状況

【市内で確認した津波到達場所】

港町1丁目、船見公園、郷津浜海岸、谷浜海岸、大潟漁港、柿崎漁港、名立漁港

【関川の津波遡上】

国土交通省高田河川国道事務所（1月10日発表）

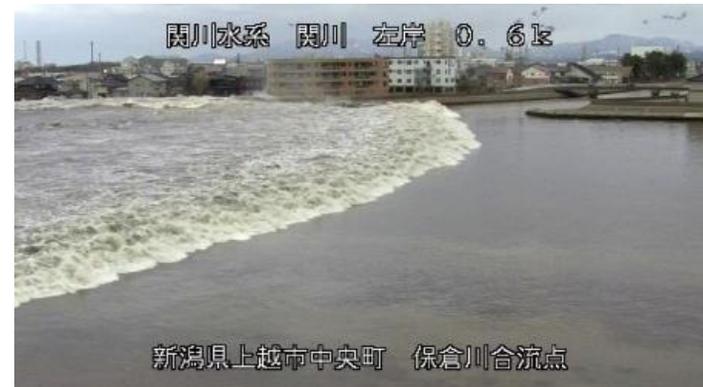
- ・午後4時35分頃に第1波が関川を遡上
- ・河口から約5km、関川支流の保倉川で約1.6kmまで遡上
- ・津波が堤防を越えて浸水したのは、関川右岸の保倉川合流地点より河口側の港町1丁目付近

【津波の高さ】

- ・関川河口における津波の高さが3.2m（2月16日開催の連絡調整会議における専門家からの報告）

【遡上高】

- ・船見公園における遡上高が5.8m（1月26日気象庁発表）



国土交通省高田河川事務所資料 引用



当市の被害・対応状況について

市の対応状況

(1) 災害対策本部

日 時		内 容
1日(月)	16時10分	上越市地震災害対策本部を設置
	18時30分	第1回上越市地震災害対策本部会議 (1.状況の確認、2.各関係機関からの報告、3.本部長指示)
2日(火)	11時00分	第2回上越市地震災害対策本部会議 (1.現在の状況、2.今後の気象見通し、3.今後優先すべき対応、4.本部長指示)
3日(水)	15時00分	第3回上越市地震災害対策本部会議 (1.現在の状況、2.今後の気象見通し、3.市民生活への支援、4.本部長指示)
16日(火)	15時00分	第4回上越市地震災害対策本部会議 (1.現在の状況、2.市民生活への支援、3.その他の対応状況、4.今後の気象見通し、5.本部長指示)

当市の被害・対応状況について

市の対応状況

(2) 情報発信

地震、津波等に関連する情報について、防災行政無線や防災ラジオ、安全メール、市公式SNS、市ホームページ及び報道機関を通じた周知など、様々な伝達手段を用いて市民への情報発信を実施

○ 地震、津波及び避難に関する主な発信

日時		内容
1日(月)	16時10分	気象庁…緊急地震速報発表
	16時10分	上越市で最大震度5強を観測
	16時10分	防災行政無線(自動起動)…緊急地震速報(Jアラート)を発表
	16時12分	気象庁…津波警報発表(新潟県上中下越)
	16時13分	防災行政無線(自動起動)…津波警報(Jアラート)を発表
	16時38分	防災行政無線(市職員)…緊急一括放送【内容】津波からの避難と火災防止を周知
	17時07分	防災行政無線(市職員)…緊急一括放送【内容】津波からの避難と火災防止を再周知
	17時58分	安全メール・SNS…避難情報の配信【内容】全避難所開設、津波警報、避難周知
	18時08分	気象庁…緊急地震速報発表
	18時08分	上越市で最大震度4を観測
	18時09分	防災行政無線(自動起動)…緊急地震速報(Jアラート)を発表
	21時08分	防災行政無線(市職員)…緊急一括放送【内容】津波警報発令中、避難継続を周知
	21時12分	安全メール・SNS…避難情報の配信【内容】津波警報発令中、避難継続を周知
2日(火)	1時15分	気象庁…津波警報から津波注意報へ切替え
	10時00分	気象庁…津波注意報解除
	14時02分	安全メール・SNS、報道機関への情報提供…避難所閉鎖情報の配信【内容】津波注意報解除、上越市総合体育館を除き順次閉鎖(※3日全ての避難所を閉鎖)

当市の被害・対応状況について

被害の状況

(1) 人的被害

死亡者数	重傷者数	軽傷者数	合計
－	1人	5人	6人

(2) 建物被害

(件)

建物区分	全 壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半 壊	準 半 壊	一 部 損 壊	中規 模半 壊	床上 浸水 による	床 下 浸 水	浸 水	合計
住家	2	9	－	35	23	1,262	1	14	－	1,346	
非住家	4	6	2	4	8	344	－	－	1	369	
合計	6	15	2	39	31	1,606	1	14	1	1,715	

当市の被害・対応状況について

被害の状況

(3) 公共施設被害

(施設)

建物区分	全 壊	大 規 模 半 壊	中 規 模 半 壊	半 壊	準 半 壊	一 部 損 壊	中 規 模 半 壊	床 上 浸 水 に よ る	床 下 浸 水	浸 水	合 計
保育園	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	7
公営住宅	—	—	—	—	—	32	—	—	—	—	32
観光施設	—	—	—	—	—	21	—	—	—	—	21
行政機関	—	—	—	—	—	13	—	—	—	—	13
その他	—	—	—	—	—	21	—	—	—	—	21
合計	—	—	—	—	—	94	—	—	—	—	94

(4) 文教施設被害

(施設)

建物区分	全 壊	大 規 模 半 壊	中 規 模 半 壊	半 壊	準 半 壊	一 部 損 壊	中 規 模 半 壊	床 上 浸 水 に よ る	床 下 浸 水	浸 水	合 計
小中学校	—	—	—	—	—	57	—	—	—	—	57
観光施設	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	8
体育施設	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	8
その他	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	12
合計	—	—	—	—	—	85	—	—	—	—	85

当市の被害・対応状況について

被害の状況

(5) 道路被害等

- 市道被害:270件（ブロック塀の市道への崩落等の軽微な被害を含む）
- 地震による主な交通規制実施箇所

区分	路線名(場所)	主な被害	交通規制内容	開始日	解除日
国道	国道8号 (茶屋ヶ原地先)	法面崩落	全面通行止め	1月1日	1月27日
県道	上越安塚柏崎線 (大島区板山地内)	道路崩落	〃	1月11日	工事中 (11月末までに復旧予定)
市道	五智居多ヶ浜シーサイドライン線 (五智6丁目地内)	漂着物堆積	〃	1月1日	1月12日
	西本町四丁目2号線 (西本町4丁目地内)	舗装破損	〃	1月2日	1月12日
	五智三丁目2号線 (五智3丁目地内)	舗装破損	〃	1月3日	1月20日

(6) 農林水産被害

農業施設等:263件、水産施設: 4件

○ 主な農業施設被害

区分	主な施設等	主な被害状況	現在の状況
農業	農業水利施設(97件)	・用水路沈下等	・復旧完了(84件) ・対応中(13件)
	農地(64件)	・農地法面崩落等	・復旧完了(57件) ・対応中(7件)
	農道(25件)	・農道の路面亀裂等	・復旧完了(23件) ・対応中(2件)

当市の被害・対応状況について

被害の状況

(7) ガス水道施設被害

- ・ガスの配管被害 37件(ガス本管0件 宅地内供給管37件)
- ・水道の配管被害 102件(水道本管46件 宅地内給水管56件)
- ・水道の断水 4か所(1月3日までに復旧済み)

(8) 下水道施設被害 26件(舗装の沈下等7件、マンホールの破損等4件、その他15件)

場 所	主な被害状況	現在の状況
五智3丁目他地内	・汚水管渠 L=1,261m (管路のたるみ、マンホール浮上1基)	・復旧工事中(令和7年3月末復旧予定)
下水道センター(藤野新田地内)	・最終沈殿池5池の掻寄機が破損	・3池は修繕完了 ・破損が大きい2池は、復旧工事中 (令和7年2月末復旧予定)

被害の状況

(9) 港湾被害

場 所	発災時の主な被害状況	現在の状況
直江津港	・荷捌き地の亀裂、噴砂 (鉦産品岸壁、西2号岸壁など)	・応急復旧完了
	・佐渡汽船フェリーの可動橋手前の道路及び 航送待機所路面の亀裂、陥没、噴砂	・応急復旧完了
直江津港内の漁港区	・漁協事務所破損	・当初、破損のまま利用 ・漁協で8月に修繕完了し、再開
	・漁港施設等破損	・当初、破損のまま利用 ・市で3月に修繕完了し、再開
名立漁港(県)	・荷捌き所ドア破損	・復旧完了
有間川漁港(市)	・津波ゴミ散乱	・処分完了
	・栈橋ローラーブッシュ破損 (フィッシャリーナ)	・復旧完了
大潟漁港(市)	・津波ゴミ散乱	・処分完了
	・西防波堤剥離及び進入路法面破損	・復旧完了
	・作業小屋破損	・復旧完了
柿崎漁港(市)	・津波ゴミ散乱	・処分完了

当市の被害・対応状況について

避難所の開設状況

(1) 地震発災時（1日～3日）

区分	避難所数		最大避難者数	最終閉鎖日時
		うち 受入施設数		
指定避難所	125施設	99施設	9,920人	3日17時00分
福祉避難所	97施設	17施設	110人	2日15時20分
合計	222施設	116施設	10,030人	

※ 震度5弱以上で避難所は自動開設

※ ガラスを割って開設した避難所 7施設

直江津小学校、直江津南小学校、旧古城小学校、カルチャーセンター、有田小学校
八千浦小学校、八千浦中学校

※ 福祉避難所の避難者数は要支援者以外の介助者等を含む。

【参考】ペットの同行（同伴）避難があった施設

総合体育館など43施設で、犬や猫、うさぎ、インコ等の同行避難を確認

(2) 大雪警報発令時（1月7日～8日）

区分	最大避難者数	開設日時	閉鎖日時
総合体育館	1世帯、1人	7日 15時30分	8日9時15分
ユートピアくびき希望館	1世帯、2人	7日 15時30分	8日9時15分

(3) 余震発災時（1月9日～10日）

区分	最大避難者数	開設日時	閉鎖日時
総合体育館	1世帯、1人	9日 18時45分	10日8時30分
ユートピアくびき希望館	1世帯、1人	9日 18時45分	10日8時30分

情報発信と住民避難に対する課題

① 情報発信

防災行政無線などによる指定避難所開設情報や市民が災害時に取り得る行動等が、適切に伝達できたかなど、速達性や伝わり方等について検証を行い、避難方法等に関する適切な情報発信や市民の理解が一層深まる周知方法の在り方等について検討を行う。

② 住民避難

津波の避難方法は「原則、徒歩で避難」を方針とする中で、自家用車での避難によって幹線道路に渋滞が発生した事象とともに、津波災害に直面した避難所の開設状況等について検証を行い、災害の種別、発生時期を踏まえた避難行動や避難所開設・運営の在り方等について検討を行う。

能登半島地震を踏まえた課題

伝達や周知などの情報発信

- 16:10 防災行政無線 (Jアラート) により緊急地震速報 ⇒ 自動起動
- 16:13 防災行政無線 (Jアラート) により津波警報 ⇒ 自動起動
- 16:38 防災行政無線 (市職員) による津波避難の呼びかけ ⇒ 手動 (全市一括)
- 17:07 防災行政無線 (市職員) による津波避難・火災防止の再周知 ⇒ (//)
- 17:58 市安全メール・SNSによる津波警報・避難周知・避難所開設情報の配信

【検討の方向性】

職員が手動で行う避難の呼びかけは、具体的な行動を付して発信できないか等

津波発生に関する情報について

気象庁は、上越市を含む地域に津波の発生が予想される場合、地震が発生してから約3分で緊急情報 (**大津波警報** ・ **津波警報** ・ **津波注意報**) を発表します。

緊急情報は、Jアラート※により防災行政無線や防災ラジオ、戸別受信機のほか、携帯電話の緊急速報メール (エリアメール) などで伝えられます。

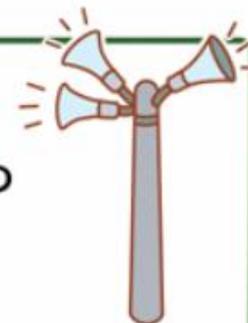
 この緊急情報をもって、市からの避難指示の発令となります。

避難指示の発令

津波発生時は、市が避難指示を発令する時間的猶予がありません。

この緊急情報 (**大津波警報** ・ **津波警報** ・ **津波注意報**) をもって、市からの避難指示の発令となります。

情報が放送されたときは、身の安全を確保して落ち着いて行動しましょう。



能登半島地震を踏まえた課題

住民避難の在り方

新潟県が公表している津波想定は、**最新の知見と技術を用いた調査により**、発生頻度は低いが発生すれば甚大な被害をもたらす**最大クラスの津波を想定**している。

当市の津波ハザードマップは、**この想定に基づいて作成**しているが、津波をもたらす地震の震源地が陸地から近いため、地震発生から10分~20分程度で到達し、避難するための時間的猶予が少ないことが特徴。

【有効な避難の検討】

津波ハザードマップで着色されている場所は、津波による浸水が想定されている**区域内**（浸水エリア）となる。

- ⇒ ①マップ上で着色されていない白地の場所（浸水想定区域**外**）に避難すれば身の安全を確保できる。
- ②浸水エリア内であっても、近くの高台や津波避難ビルに避難すれば、身の安全を確保できる。

【課題】 単独での避難が難しい避難行動要支援者等は、津波がくるまでに避難が間に合わない可能性がある。

【対応】 車を使った避難の検討（「原則、徒歩による避難」は変更しない）

※対象者を限定し、複数の経路や目指すべき避難場所などの検討が必要

能登半島地震を踏まえた課題

今後の対応について（速やかに対応した事項）

□ 令和6年能登半島地震連絡調整会議の開催

<p>目 的</p>	<p>災害の復旧状況や今後の見通しを共有するとともに、最新の知見に基づき、津波被害から身を守る避難行動等について、市民へ発信する。</p>
<p>実施日</p>	<p>令和6年2月16日（金）</p>
<p>参 加 機 関</p>	<p>災害・復興科学研究所 高田河川国道事務所 新潟地方気象台 新潟県防災局 上越地域振興局地域整備部 // 妙高砂防事務所 // 直江津港湾事務所</p>
<p>会 議 次 第</p>	<p>□各機関から被災状況及び対応状況の説明 □今回の津波と今後想定される津波等について □意見交換</p>



能登半島地震を踏まえた課題

今後の対応について（速やかに対応した事項）

□ 広報じょうえつによる市民への周知 【3月号】

災害に備えましょう

■問合せ：市民安全課 ☎025-520-5660
危機管理課 ☎025-520-5665

1月1日に発生した能登半島地震は、当市にも多くの被害をもたらしました。市では、今回の地震発生に伴う一連の対応を振り返り、今後の災害に備えていきます。市民の皆様も、改めて「上越市民防災ガイドブック・避難所マップ」や各種ハザードマップを確認するとともに、非常持出品の準備や自主防災組織の活動への参加など、「いざというとき」に備え、できることから取り組むようお願いいたします。

▶非常持出品をチェック☑しましょう～3日間は自力で生活ができる備えを～

非常持出品に入っていますか？

- 非常食
 - ミネラルウォーター
 - 缶パンなどの保存食
 - 缶詰
- 感染症予防
 - 体温計
 - マスク
 - ウェットティッシュ
 - スリッパ
- 救急医薬品
 - ガーゼ
 - 消毒液
 - ばんそうこう
 - 胃腸薬
 - 包帯
 - 風邪薬
- その他
 - 携帯電話
 - 携帯ラジオ
 - 器具
 - 上着・防寒具
 - ヘルメット（防災ずきん）
 - 傘
 - ロープ
 - タオル
 - マッチ・ライター
 - ビニール袋（ポリ袋）
 - 下着類・くつ下
 - ティッシュペーパー
 - トイレ用ペーパー
 - 生理用品
 - レジャーシート
 - 懐中電灯
 - ろうそく
 - 携帯用の包切りやナイフ
 - 洗面用具・せっけん・歯磨き
 - 紙コップ・紙皿・ラップ
- 赤ちゃんがいる家庭
 - 紙おむつ
 - 哺乳瓶
 - ミネラルウォーター（ミルク用）
 - 離乳食
 - 粉ミルク・液体ミルク
- 病弱や体の不自由な人がいる家庭
 - 紙おむつ
 - 持病の薬
 - 看護・介護用品
 - 常備薬
- ペットがいる家庭
 - 餌・水（7日分以上）
 - 食器
 - 薬
 - ケージ
 - リード
 - トイレ用品

2024・3 広報じょうえつ 4

【4月号】

令和6年能登半島地震 正しく恐れ、正しく備えましょう

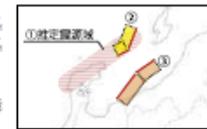
～今一度、「津波ハザードマップ」の確認を～

■問合せ：危機管理課 ☎025-520-5665

能登半島地震の発生後、さまざまなメディアで「割れ残り」という言葉と共に、佐渡沖の活断層が動く可能性や津波の規模に関する情報が報道されました。市では、地震災害の状況について関係機関で情報を共有するとともに、今後の災害にどう備えるかを考えるため、2月16日に「令和6年能登半島地震対応調整会議」を開催し、学識経験者、関係機関から意見を聞きまし。専門家の意見を踏まえ、家族や地域で災害時の対応を再確認しましょう。

「割れ残り」って何？

1月1日に発生した地震と津波は、能登半島の北東から南西にかけて、約150kmにわたって活断層（図中①）が動いたことにより引き起こされたものと言われています。一方、佐渡沖の活断層（図中②）は、1月1日の地震では、ほとんど動いておらず、今後大きな地震や津波を引き起こす可能性がある「割れ残り」として報道されました。



連絡調整会議で示された見解は？

- ① 「割れ残り」と報道された佐渡沖の活断層（図中②）でも、その後の余震により小さな活動が続いている。
- ② 上越市の「津波ハザードマップ」は、新潟県の津波浸水想定に基づき、上越・糸魚川沖の活断層（図中③）が引き起こすマグニチュード7.6の地震による最大規模の津波を想定して作成されている。
※佐渡沖の活断層（図中②）は、マグニチュード7.3を想定
- ③ 今後、仮に「割れ残り」とされる佐渡沖の活断層（図中②）により地震と津波が発生したとしても、津波ハザードマップで想定している津波（到達時間および規模）を超えるものではない。



これからどのように地震・津波に備えたいの？

これまでと同様、現行の「津波ハザードマップ」や「防災ガイドブック・避難所マップ」に基づき、家庭・地域・職場で地震・津波に備えてください。

個人や家族で

- ① 自宅やよく行く場所の災害リスクを確認
- ② 避難場所や避難経路、避難にかかる時間を確認
- ③ 非常持出し品、備蓄品を準備

地域（自主防災組織）や職場で

- ① 危険箇所の把握・共有や防災知識の普及啓発、防災資機材などを整備するとともに、防災訓練を繰り返し実施
- ② 単独での避難が難しい人の避難について、自助・共助を基本とする中で、市や自主防災組織などと連携して、車を活用することも検討



能登半島地震を踏まえた課題

今後の対応について（今年度内に対応する事項）

実施項目	内容
①沿岸部住民との意見交換会 	目的:意見の集約と課題の整理 時期:4月~6月 対象:9地区(263町内会)
②地域別ワークショップの開催 	目的:津波避難計画の見直し 時期:5月~9月 対象:9地区(83町内会※) ※津波避難計画作成している町内会
③総合防災訓練の実施 	目的:見直し後の津波避難計画の確認 想定:地震(津波)災害 時期:10月12日(土) 対象:直江津地区

※ 津波避難計画を見直した地域では、地域で行う防災訓練で実効性を高めていく予定

令和6年能登半島地震の対応及び今後の対応について(住宅・インフラ関係)

市道に関する主な被害

五智居多ヶ浜シフトライン線



被災状況(1月2日撮影)



現状(4月25日撮影)

津波によりがれきや土砂が堆積して通行止めとなった市道五智居多ヶ浜シフトライン線は、1月12日に撤去が完了し、通行止めを解除した。現在は、海岸部のがれき等の撤去も進み、元の状況に戻りつつある。

西本町四丁目2号線



被災状況(1月2日撮影)



地震により被災した市道西本町四丁目2号線は、応急復旧工事後、国の災害査定により復旧事業が確定した。本復旧工事は、6月から着手し、降雪前の11月下旬までに完了する予定である。

市道の復旧・対応等

□ 市道の被害件数内訳(令和6年9月9日現在)

(件)

		道路損壊	路肩決壊	路面亀裂	落石	法面崩落	土砂流出	冠水	道路陥没	段差	倒木	計
被害件数		99	2	94	0	4	6	1	47	15	2	270
内訳	経過観察	10	0	41	0	0	0	0	0	2	0	49
	復旧完了	91	2	53	0	4	6	1	47	13	2	219
	対応中	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

□ 公共土木施設災害復旧事業

国の災害査定により確定した復旧工事

- ①対象路線 西本町四丁目2号線(西本町四丁目地内)
 実施内容 舗装復旧等 L=61m
 完了時期 令和6年11月下旬予定
- ②対象路線 朴ノ木上用水線(安塚区朴の木地内)
 実施内容 法面復旧等 L=21m
 完了時期 降雪前までに工事完了を目指す

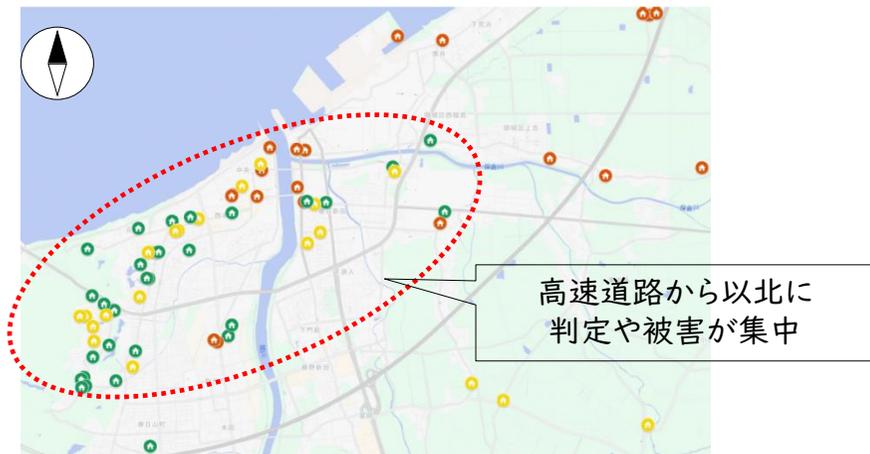
道路の損壊や陥没等の被害が270件発生したが、9月9日時点で、被災状況が軽微で経過観察とした対応を除き、219件の小規模な復旧工事が完了した。

令和6年能登半島地震の対応及び今後の対応について(住宅・インフラ関係)

被災建築物応急危険度判定の実施位置図 (住家以外も含む)

危険(赤)	要注意(黄)	調査済(緑)	全数
37件	36件	47件	120件

※住家で危険(赤):18件(旧耐震10件、新耐震8件)



住家の被害状況

(R6.9.9現在)

全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	準半壊に至らない(一部損壊)
2件	9件	1件	35件	23件	1,262件



応急危険度判定の様子



傾いた非住家

住家の復旧・対応等

◆国制度等(災害救助法・県単・市単) (R6.9.9現在)

制度名	条件	件数	交付申請額
被災者住宅 応急修理	大規模半壊	1件	2,706千円
	中規模半壊	1件	1,460千円
	半壊	15件	23,495千円
	準半壊	13件	11,275千円
合計		30件	38,936千円

※災害救助法に基づく応急修理制度(国制度)と新潟県独自の住宅の応急修理(県制度)に、市独自の支援を上乗せ
 ▶1件あたりの市独自の支援額
 大規模半壊 1,000千円、中規模・半壊 500千円、準半壊 300千円

◆市独自制度 (R6.9.9現在)

制度名	支援率	件数	交付申請額
被災者住宅修理支援事業	1/2 (上限10万円)	1,201件	112,166千円

制度名	配付期間	件数	枚数
ブルーシートの配布	1/5~1/31	153件	495枚

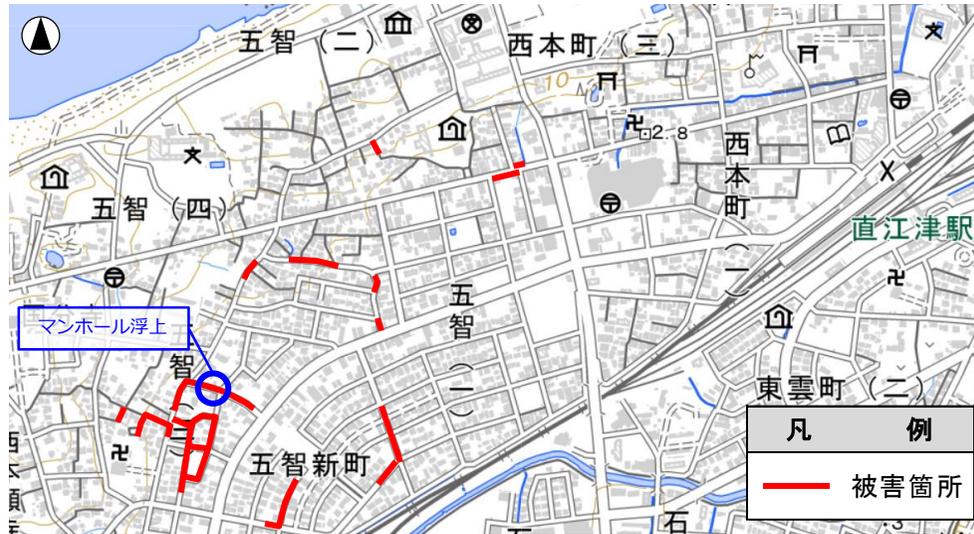
◆令和6年度における取組の強化

<取組内容>

▶耐震改修・耐震シェルター・旧耐震の住宅の除却支援 等

管路施設に関する被害

上越市五智地区における管路被害箇所(令和6年1月24日現在)



汚水管渠L=1,261m区間(上越市五智地区)において、地盤の液状化によるマンホール浮上や管路のたるみの被害が発生



液状化により浮上したマンホール
(1月2日撮影)



仮設ポンプ・仮配管による応急
(1月9日撮影)

処理施設に関する被害

下水道センター(上越市藤野新田地内)の最終沈殿池8池中5池で汚泥掻寄機のフライト板の破損、チェーンの脱落及び断裂の被害が発生



掻寄機のフライト板が破損
(1月5日撮影)



掻寄チェーンの断裂
(1月5日撮影)

下水道施設の復旧・対応等

【管路施設】

- 被害箇所の一部において、仮設ポンプと仮配管による応急工事完了(R6.1.20)
- 公共土木施設災害復旧事業(国の災害査定により確定 R6.3.6)
 - ・実施内容 汚水管渠復旧工事 Φ200~250mm L=1,261m
 - ・完了時期(見込み) 令和7年3月下旬頃

【処理施設】

- 令和6年1月20日までに、最終沈殿池3池の修繕完了(8池中6池で運用)
- 公共土木施設災害復旧事業(国の災害査定により確定 R6.3.6)
 - ・実施内容 最終沈殿池汚泥掻寄機復旧工事 2池
 - ・完了時期(見込み) 令和7年2月下旬頃

地域内視察研修（案）

- 日にち：令和6年11月6日（水） ※午前のみ、午後のみ参加も可
 ■目的：直江津区を知る（地域団体の活動、歴史・観光名所、災害対策）
 ■行程：

時間	内容	場所
10：00～10：20（20分）	視察行程説明	レインボーセンター
（10分）	移動（マイクロバス）	
10：30～11：00（30分）	現地視察 （説明：福島城を愛する会）	福島城址、福島城資料館
（10分）	移動（マイクロバス） （車窓）佐渡汽船ターミナル ・地域団体の活動紹介	
11：10～11：30（20分）	現地視察 ・地域団体の活動紹介	船見公園
（5分）	移動（徒歩）	
11：35～11：45（10分）	現地視察 ・地域団体の活動紹介	安寿と厨子王丸供養塔
（5分）	移動（徒歩）	
（5分）	乗車・移動（マイクロバス）	
11：55～12：50（55分）	昼食（各自負担）	うみがたり内レストラン （ロス クエントス デル マール）
（10分）	移動（マイクロバス）	
13：00～13：30（30分）	現地視察 （説明：五智公園を育てる会）	五智公園
（5分）	移動（マイクロバス）	
13：35～14：35（60分）	五智の名所・史跡の学習 （説明：観光ボランティアガイド）	五智歴史の里会館 多目的室 五智国分寺見学
（10分）	移動（マイクロバス）	
14：45～15：00（15分）	現地視察 ・海岸からの避難階段視察	直江津海水浴場
（10分）	移動（マイクロバス） （車窓）五智居多ヶ浜シーサイドライン ・地域団体の活動紹介	
15：10	終了 ・アンケート票配付	レインボーセンター